

104-246

問題文

前問で選択した治療処置により、患者の症状は緩和された。この症状が緩和される機序はどれか。2つ選べ。

1. アセチルコリンの濃度の上昇
2. アセチルコリンの濃度の低下
3. ムスカリン性アセチルコリン受容体における競合的拮抗
4. ニコチン性アセチルコリン受容体の脱感作
5. アセチルコリンエステラーゼの阻害

解答

問246 : 2, 5問247 : 2, 3

解説

問246

ピリドスチグミンは AchE（アセチルコリンエステラーゼ）阻害薬です。内服3日目から体調不良で、エドロホニウム（短時間作用型コリンエステラーゼ阻害薬）投与で症状増悪していることから、コリン作動性クリーゼと考えられます。

つまり、Ach 過剰です。対応としては、処方されているピリドスチグミンを減量します。抗コリン薬投与で症状の改善を図ります。以上をふまえ、選択肢を検討します。

選択肢 1 ですが
エドロホニウムの追加投与は不適切です。

選択肢 2 は妥当な記述です。

選択肢 3 ですが
ネオスチグミンは AchE 阻害薬です。追加すると症状は増悪すると考えられます。不適切です。

選択肢 4 ですが、増量ではなく減量が適切と考えられます。不適切です。

選択肢 5 は妥当な記述です。
アトロピンは抗コリン薬です。

以上より、問246 の正解は 2,5 です。

問247

選択肢 1 ですが
アセチルコリン濃度が上昇したら、症状は増悪すると考えられます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は妥当な記述です。

選択肢 4 ですが
脱感作ではありません。また、発汗、腹痛などは「ムスカリン性」アセチルコリン受容体を介した症状と考えられます。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが
AchE 阻害では、症状は緩和されません。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、問247 の正解は 2,3 です。